



略 歴

日本作業療法士協会 47 都道府県委員会 精神科 OT ワーキンググループメンバー
京都府作業療法士会 会長

近畿作業療法士会連絡協議会 精神科 OT ワーキング グループ 発足について (K-POTW : Kinki-Psychiatric Occupational Therapy Working)

平山 聡(ひらやま さとし) 京都府士会

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築

平成 16 年 9 月に厚生労働省が取りまとめた「精神保健医療福祉の改革ビジョン」において、「入院医療から地域生活中心へ」という精神保健医療福祉施策の基本的な方策が示され、平成 29 年 2 月には、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を目指すことが新たな理念として明確にされました。

日本作業療法士協会 47 都道府県委員会「精神科 OT ワーキンググループ (POTW)」

このような流れの中で、精神科作業療法があげてきた成果と相反して、長年にわたって抱えてきた課題に向き合いその解決を目指すことや、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて貢献できる作業療法を確立してゆくことを目的に、日本作業療法士協会 (OT 協会) と全国の都道府県作業療法士会の協業のもとに組織的な取り組みを進めてゆくため、平成 29 年 8 月、OT 協会 47 都道府県委員会の傘下に「精神科 OT ワーキンググループ (POTW)」が発足されました。

「近畿 (作業療法士会連絡協議会) 精神科 OT ワーキング (K-POTW)」

この 47 委員会の精神科 OT ワーキンググループの取り組みの一環として、この度、近畿圏の作業療法士を対象に「近畿 (作業療法士会連絡協議会) 精神科 OT ワーキング (K-POTW)」を令和 3 年度より発足します。近畿においては、他の地域ブロックに先駆けて、その重点連携 7 事業の一つとして精神科 OT のためのワーキングを本格始動してゆく予定です。その目的を達成するために、令和 3 年 1 月に発行したこのワーキングの「趣意書」に、以下の 5 項目の事業を挙げています。

- 1 精神障害に関連した近畿圏の作業療法士による「K-POT-net (近畿精神科 OT ネット) (仮)」の構築
- 2 精神科作業療法の課題を解決するための取り組み
- 3 精神科作業療法評価、治療のための標準ツールなどの検討
- 4 「多様な精神疾患等 (14 疾患等)」ごとの作業療法好事例データの蓄積
- 5 その他、OT 協会と連動して行う事業

「今後のワーキングの取り組み」

この原稿を投稿している令和 3 年 3 月現在、このワーキングを進めるためのチームメンバーを近畿の各府県士会から 2～3 名ずつ人選してもらっているところです。上記の 5 項目を「たたき台」に、この新たなメンバーでチーム会議を開き、近畿での具体的な取り組みについて協議、検討してゆく予定です。

今回は近畿のワーキング発足に至るまでのお話しです。この機会をきっかけに今後の「近畿精神科 OT ワーキング」の活動にご注目いただき、皆様のご理解とご支援、そしてご協力とご参加を賜りますようお願い申し上げます。